

令和元年予算決算委員会第2分科会会議録

1. 招集年月日 令和元年9月12日
2. 招集の場所 可児市役所第1委員会室
3. 開 会 令和元年9月12日 午後0時06分 分科会長宣告
4. 審 査 事 項

協 議 事 項

1. 予算決算委員会の提言、委員長報告に付すべき意見について

①空き家の活用について

- ・岐阜医療科学大学の開設もあり空き家の活用に新たな事業の展開と空き家の解体費用への補助事業の拡充。

②外国籍市民の増加への対応について

- ・今後、可児市の外国籍人口の増加に人員の配置など窓口業務の改善や外国籍の多い地域の地区センターや学校にポケットクの配備を行う必要がある。

③支え愛地域づくり事業について

- ・Kマネー事業について事業内容や効果等の検証結果について、議会に対して分かりやすい形の事業評価を明示して欲しい。
支え愛ポイント制度の見直しをしてはどうか。

④地区センター地域拠点化事業について

- ・地区センター地域拠点化事業が進むよう提言が必要。

5. 出席委員 (8名)

分科会長	澤野伸	副分科会長	中村悟
分科会委員	伊藤健二	分科会委員	酒井正司
分科会委員	川上文浩	分科会委員	渡辺仁美
分科会委員	奥村新五	分科会委員	伊藤壽

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	板津博之	予算決算副委員長	野呂和久
---------	------	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	伊左次敏宏	議会総務課長	梅田浩二
議会事務局 書記	下園芳明	議会事務局 書記	松倉良典

○分科会長（澤野 伸君） これより予算決算委員会第2分科会を開催いたします。

9月9日の予算決算委員会において、委員から発言のありました内容をもとに、本日、分科会の皆様からの建設市民委員会所管の部分についての御意見をいただき、令和2年度当初予算編成に生かすよう、提言を行うよう取りまとめていきたいと存じます。

予算決算委員会において出された意見は4つございます。

1つ目、空き家の活用について、2つ目、外国籍市民の増加への対応について、3つ目、支え愛地域づくり事業について、4つ目、地区センター地域拠点化事業についてであります。

これらの意見のうち、提言として取り上げるのか、また委員長の報告に付すべきものとの仕分けをしていきたいというふうに思います。

委員の皆様から御意見をいただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○分科会委員（川上文浩君） まず、3番ですけれども、支え愛地域づくり事業については、これは今後、しっかりと効果を検証した上で、詳細報告を求めるといような形で委員長報告に付していただければいいのかなあとということで、提言には盛り込まなくてもいいのではと思います。

4番目の地区センター地域拠点化事業は、これは今モデル事業として進んでおりまして、結果が出るのが今年度中ということですので、その結果を待つということですので、こちらのほうは提言、それから委員長報告にも反映する必要はないんじゃないかというふうに思っております。

あとは、1番、2番というものをどうしていくかということですが、1番は空き家の活用について補助メニューを拡充するような提言につながれたらなあと思いますし、2番は外国籍市民の急激な増加、今後も増加が認めるといことで、各種の窓口業務や各種のそういった関連の学校ですとか地域ですとか、そういったところへの対応というのには重点的に予算を配分していく必要があるんじゃないかということ、提言でまとめられたらいいんじゃないかというふうには思っております。私は以上です。

○分科会長（澤野 伸君） 他に御発言、ただいまの意見を踏まえながら皆様の御意見もあわせてお願いしたいというふうに思います。

いかがでしょうか。

○分科会委員（伊藤 壽君） 地域支え愛事業づくり3番目、それから地区センター地域拠点化事業については、今川上委員が発言されたとおりでいいかと思えます。

○分科会長（澤野 伸君） それでは、まず3番目、4番目の部分について、支え愛地域づくり事業についてと地区センター地域拠点化事業についてですけれども、今御発言がありました内容で皆さん御同意いただけますでしょうか。

[「はい」の声あり]

それでは、同意いただけたということで、3番目につきましては委員長報告のほうに付していただきたいということ、4番目につきましては、経過を見るということ、委

員会としても対応していこうということになりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

それでは、1番目、2番目、空き家の活用について、まず御意見いただけたらと思いますが、どうでしょうか。補助メニューの拡充ということでの今御意見をいただいておりますけれども、提言に付したほうが良いということであれば、文章のほうを成文化していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○分科会委員（伊藤健二君） まず、空き家の活用についてというテーマ自体が、これでいいと思うんです。空き家の活用について新たにメニューを提言してもらったりして、より促進できるような仕組みを整えて進めていくということと、先ほど酒井委員からも出ていた、たまたま岐阜医療科学大学の開設もあって、それと補助メニューとがうまくマッチした、何かモデル地域化というか、そこでの成功例をつくり出せると、より見えやすい形でこういうものが生きていくんじゃないかなあと思うけど、ただいろんな諸条件が折り重なるので、自動的に成功例が降ってくるわけじゃないから、まず補助メニューを、具体化を広げながら何かいい実践例が、成功例をつくり出せるといいと思うので、行政側も、そういう目線でしっかりと見定めてつくり出すための努力を促していく、激励していくということがプラスアルファで付加されるような表現にできればと思うんですけど、どうでしょう。

○分科会長（澤野 伸君） 他に御発言。

○副分科会長（中村 悟君） 空き家の件ですが、空き家の活用についてという意味でいうと、この解体費用の補助事業というは、これは活用ではなくて空き家の整理ということで、空き家の活用の事業展開ということとは、僕はやっぱり分けて出されるなら出したほうがええのかなあと思います。

それと、空き家の活用って、再三一般質問等でも市長やらいろいろ答えてはいますが、かなり本当に難しい状況というのがあって、気持ちはようわかるんですけど、出すのはどうかなあという気がします、意見です。

○分科会長（澤野 伸君） 他に御発言いかがでしょうか。

○分科会委員（川上文浩君） もし入れるのであれば、空き家等の活用についてとありますけれども、空き家等対策推進事業費について中身についてもう少し充実、その事業費が今年度決算で220万円何がしが決算で出ていて、空き家等に関する協議会の開催、それから調査の臨時職員分、それからリーフレットをつくって空き家・空き地活用促進事業助成金を交付したということが出ているので、ここの中をしっかりと、もう少しメニューをふやした中で、事業費の拡大を図るよというふうなことなら提言的にできるのかなあというふうに思っていて、解体費用だけを出しちゃうとちょっとくるので、大きい意味でこの事業費の拡充みたいなどころに行くと、持っていける可能性はあるかなあというふうに思います。

○分科会長（澤野 伸君） 他に御発言はいかがでしょう。

○分科会委員（酒井正司君） 確かに見出しが空き家ですので、解体費用というのはちょっと別の意味合いになってくるかなあ。むしろ空き家に限定したというか絞って、特に地域性

がありまして、やはり西可児地区の高齢化に伴っての空き家の進行というのは非常に深刻な
ので、ぜひともこれは普通に地域の熱い思いもありますので、ぜひともお願いしたいなあ
と思います。

○分科会長（澤野 伸君） 少しちょっと、今の意見を踏まえましてお話しさせていただきます。
す。

空き家等対策推進事業での拡充というふうには持ち込めば、今、酒井委員がおっしゃられた
点、それから解体費用の件もここにコミットされてまいります。前年度比、決算だけで見ま
すと減額になっておりますので、拡充という意味合いで文章を構築して、いわゆる岐阜医療
科学大学の開設に伴いという文言を少し入れながら拡充策を打つてというような提言の文章
構築をしたいと思いますが、どうでしょうかね、よろしかったですかね。

〔「はい」の声あり〕

ちょっと暫時休憩といたします。

休憩 午後0時15分

再開 午後0時21分

○分科会長（澤野 伸君） 休憩を解きます。

今、空き家等対策推進事業の拡充についてということで、今アンダー、網かけがかかって
いますけれども、空き家の有効な活用につながるよう補助メニューの拡充、新たな事業展開
を進めることということで、骨組みについてはこういった形でいきたいということでもとめ
させていただきました。

あと、多少文言についてはさわらせていただきたいと思いますが、ちょっとあと、
こういった言葉というか、幹の部分にちょっと枝をつけたらどうだとか、何か御意見あれば、
今伺いたいと思いますが。おおむねこういう方向でよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

それでは、ちょっと今委員長、副委員長も御出席いただいておりますので、少しまた御相
談しながら文言については最終的にお出しする形はお任せいただきたいというふうに思いま
すが、よろしいですかね。

〔「はい」の声あり〕

それでは、2つ目、外国籍市民の増加への対応について御意見をいただきたいと思います。

○分科会委員（川上文浩君） 今、伊藤委員と一緒に休む中に、こんな方向でいいんじ
ゃないかなあというのを皆さんの意見を聞いてちょっとつくってみました。ちょっと読んで
いきます。お願いします、事務局。

可児市の外国籍人口の急激な増加や、ちょっと待って、ちょっと適当に、増加でとめても
いい。また今後も増加が見込まれることから、外国籍の多い地域の地区センターや学校など、
人員の配置や業務の改善に対して重点的に予算配分をすることという感じになるんじゃない
かなあということで、ちょっと今2人でつくりました。

○分科会長（澤野 伸君） ただいま御意見いただきました件につきまして、委員の皆様、御発言いただきたいと思ひます。どうでしょうか。

〔発言する者あり〕

暫時休憩といたします。

休憩 午後0時23分

再開 午後0時24分

○分科会長（澤野 伸君） 休憩を解きます。

ただいま画面表示が出てまいりました。委員の皆さん、御発言いただきたいと思ひます。

○分科会委員（酒井正司君） ほぼそのとおりでいいんですが、できれば人口の急激な増加と多国籍化が今後も急激な変化が見込まれる。多国籍化。

〔発言する者あり〕

○分科会長（澤野 伸君） ちょっと暫時休憩します。

休憩 午後0時28分

再開 午後0時28分

○分科会長（澤野 伸君） 済みません、休憩を解きます。

ただいま表記の部分については前方の画面に出ておりますが、多少の文言調整につきましては正・副分科会長にお任せしていただきたいと思ひますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございます。

それでは、提言としてこの2項目を予算決算委員会に送りたいというふうに思ひます。

それでは、この件について全体を通じて何か御発言ありますでしょうか。

よろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

それでは、特に発言もないということでもありますので、このように決定をさせていただき、9月18日の予算決算において私から報告をさせていただくこととさせていただきます。

本日はこれにて散会といたします。本日はどうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。

閉会 午後0時28分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和元年9月12日

可児市予算決算委員会第2分科会長